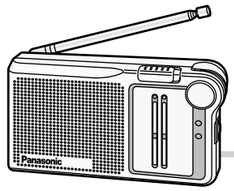
Panasonic



FM-AM 2バンドレシーバー
AM レシーバー

取扱説明書

品番　RF-P150
R-P130

この取扱説明書は RF-P150、R-P130 を共用しています。
イラストは RF-P150 です。
性能の違いは RF-P150 R-P130 で示しています。

このたびは、お買い上げいただき、まことにありがとうございました。
■この取扱説明書と保証書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。そのあと保存し、必要なときにお読みください。
■保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

付属品
●単３形乾電池　２本
●モノラルイヤホン
(品番 RFEV915AZKB)
付属品の買い替えは、お買い上げの販売店へ。

保証書付き

上手に使って上手に節電

便利メモ（おぼえのため、記入されると便利です。）

お買い上げ日	年　月　日	品番	RF-P150/R-P130
販売店名	☎（　）　－		

松下電器産業株式会社
AVC ネットワーク事業グループ
〒571-8505　大阪府門真市松生町１番４号

© Matsushita Electric Industrial Co., Ltd.(松下電器産業株式会社) 2001

RQT6327-S F0901TH0

Panasonic　持込修理

パナソニック音響製品保証書

本書はお買い上げの日から下記期間中故障が発生した場合には本書裏面記載内容で無料修理を行なうことをお約束するものです。詳細は裏面をご参照ください。

品番	RF-P150/R-P130
保証期間	お買い上げ日から **本体１年間**
※お買い上げ日	年　月　日
※お客様	ご住所 お名前　**様** 電話（　）　－
※販売店	住所・氏名 電話（　）　－

松下電器産業株式会社
AVC ネットワーク事業グループ
〒571-8505　大阪府門真市松生町１番４号　TEL (06) 6909-1021

ご販売店さまへ　※印欄は必ず記入してお渡しください。

主な仕様

電源：　DC ３Ｖ（単３形乾電池２本使用）
実用最大出力：　100 mW (JEITA)
スピーカー：　5.7 cm　丸形　8 Ω
出力端子：　イヤホン　8 Ω　3.5 mm

寸法/質量：

	RF-P150	R-P130
最大外形寸法 (W)×(H)×(D)	120×68×31 mm (JEITA)	120×68×30 mm (JEITA)
本体寸法 (W)×(H)×(D)	119×68×28 mm	119×68×28 mm
質量 (乾電池含む)	約168 g	約151 g

受信周波数/受信チャンネル：

	RF-P150	R-P130
FM	76.0～108.0 MHz (※TV 1～3 ch)	―――
AM	525～1629 kHz	

電池持続時間（JEITA）：
ナショナルネオ《黒》R6PU 使用時

		RF-P150	R-P130
FM	イヤホン使用時	約100時間	―――
	スピーカー使用時	約50時間	―――
AM	イヤホン使用時	約125時間	約150時間
	スピーカー使用時	約52時間	約65時間

Panasonic アルカリ乾電池 LR6 使用時

		RF-P150	R-P130
FM	イヤホン使用時	約220時間	―――
	スピーカー使用時	約95時間	―――
AM	イヤホン使用時	約260時間	約290時間
	スピーカー使用時	約125時間	約150時間

電池持続時間は使用条件によって短くなることがあります。
この仕様は、性能向上のため変更することがあります。
※本機で受信できるのは、TV 音声のみです。(RF-P150)

使用上のお願い/お知らせ

■故障の原因になりますので、以下のことは避けてください。
- 強い衝撃や落下
- 風呂場など湿気の多い所、倉庫などほこりの多い所での使用
- 雨にぬらす

■道路交通情報サービスを聞くには
道路交通情報サービスを実施している場所で、AM の 1620 kHz または 1629 kHz を選局してください。

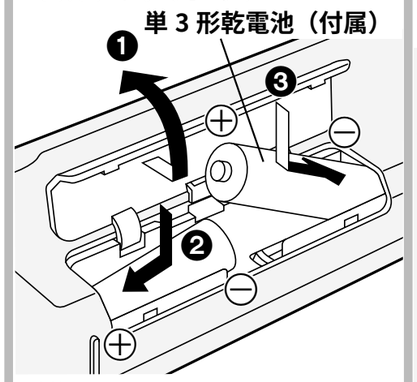
■以下の場合は、本機の故障ではありません。
- 本機を他のラジオやテレビなどの電気製品の近くで使用すると、互いに干渉しあって雑音が入ることがあります。
- 本機を 0 ℃前後から暖かい場所へ急に移したとき、正常に動作しないことがあります。これは、本機の動作部に露が発生したためで、約 60 分で正常に戻ります。

お手入れ

柔らかい布でふいてください。ひどい汚れは、薄めた台所用洗剤（中性）を含ませた布でふき、後はからぶきしてください。
- アルコールやシンナーは使わないでください。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書に従ってください。

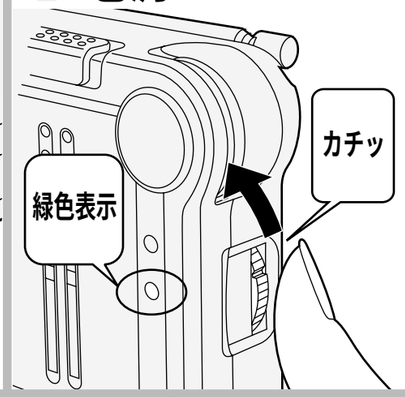
ラジオを聞く

電池の入れ方



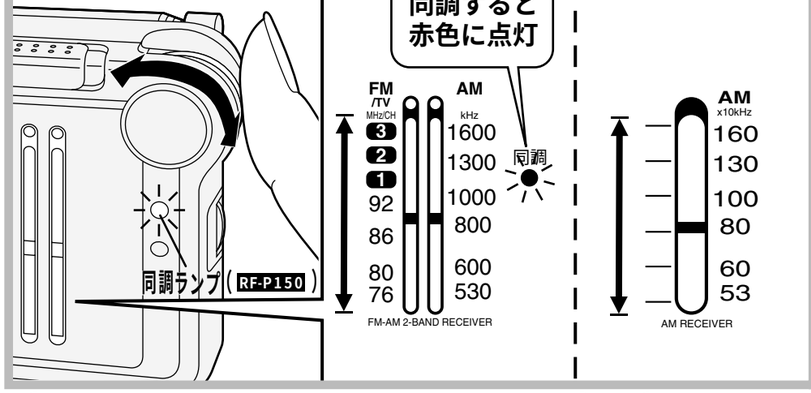
※本機は、電池を取り出しやすくするため、電池が少し浮いた状態でフタが閉まります。

1 電源

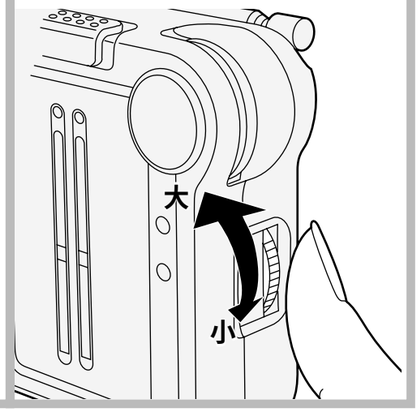


2 RF-P150 バンド切替（FMまたはAM）

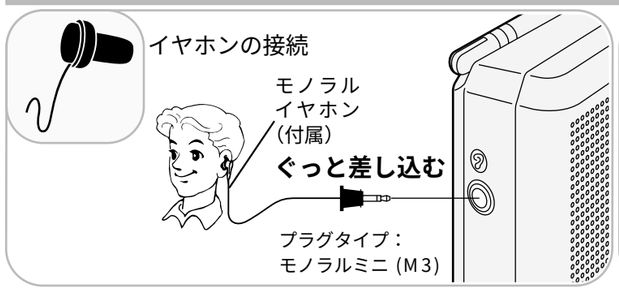
3 選局



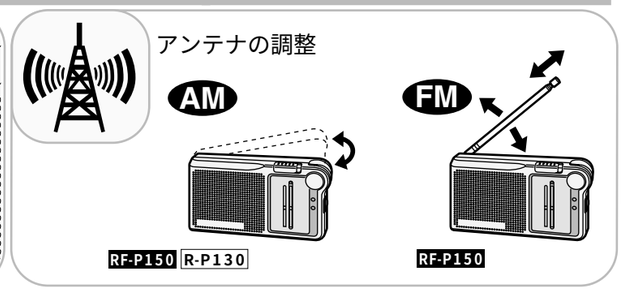
4 音量



イヤホンの接続



アンテナの調整



お知らせ

- インサイドホンタイプのイヤホンは耐入力値が小さいので、使用しないでください。買い替えの際は付属イヤホンと同タイプ（右図の形状）のものをご購入ください。
- 充電式電池をお使いの時には、Panasonic の充電式電池をおすすめします。尚、使用済みの電池は、貴重な資源を守るために廃棄しないでリサイクル協力店にお持ちください。
- 音がひずんだり、小さくなったときは、２本とも新しい乾電池と交換してください。
- RF-P150 は、電波が弱いときや乾電池が消耗しているときに、放送を受信しても同調ランプが点灯しない場合があります。
- 建物や乗り物の中では電波が届きにくいので、放送が聞こえにくくなったり、聞こえないことがあります。できるだけ窓際でお聞きください。
- RF-P150 は、FM バンドで TV 受信（１～３チャンネル、音声のみ）が可能ですが、FM 受信回路と兼用しているため、２または３チャンネルに、FM が混信することがあります。

お願い

- 本機のスピーカーは、防磁設計ではありません。テレビやパソコン等の近くに置かないでください。
- 本機と携帯電話を近づけて使っているときは、本機から携帯電話を離してください。

保証とアフターサービス

よくお読み下さい

修理・お取り扱い・お手入れ
などのご相談は…
まず、お買い上げの販売店へ
お申し付けください

転居や贈答品などでお困りの場合は・・・
- 修理は、サービス会社・販売会社の「修理ご相談窓口」へ！
- その他のお問い合わせは、「お客様ご相談センター」へ！

■保証書（表紙の下をご覧ください）
お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りください。よくお読みのあと、保存してください。

保証期間：お買い上げ日から本体１年間

■補修用性能部品の保有期間
当社はFM-AM２バンドレシーバー、AMレシーバーの補修用性能部品を、製造打ち切り後６年保有しています。
注）補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理を依頼されるとき
もう一度取扱説明書をよくお読みいただき、ご確認のうえ、直らないときはお買い上げの販売店へご連絡ください。

● 保証期間中は
保証書の規定に従って、お買い上げの販売店が修理させていただきますので、恐れ入りますが、製品に保証書を添えてご持参ください。

● 保証期間を過ぎているときは
修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理させていただきます。

● 修理料金の仕組み
修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。
技術料は、診断・故障個所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。
部品代は、修理に使用した部品および補助材料代です。
出張料は、製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

ご連絡いただきたい内容			
品名	FM-AM２バンドレシーバー/AMレシーバー	お買い上げ日	年　月　日
品番	RF-P150/R-P130	故障の状況	

使いかた・お買い物などのご相談

ナショナル／パナソニック　お客様ご相談センター

電話　フリーダイヤル　0120-878-365（パナは　365日）
FAX　フリーダイヤル　0120-878-236
365日／受付9時～20時

Help desk for foreign residents in Japan
〈外国人／海外仕様商品（ツーリスト商品他）等ご相談窓口〉
Tokyo (03)3256-5444　**Osaka** (06)6645-8787
Open : 9:00 - 17:30 (closed on Saturdays / Sundays / national holidays)

修理に関するご相談

ナショナル／パナソニック　修理ご相談窓口

ナビダイヤル（全国共通番号）　0570-087-087

- お客様がおかけになった場所から最寄りの修理ご相談窓口につながります。呼出音の前にNTTより通話料金の目安をお知らせします。
- 携帯電話・PHS等からは最寄りの修理ご相談窓口に直接おかけください。

ナショナル／パナソニック　修理ご相談窓口

北海道地区

札幌	札幌市厚別区厚別南2丁目17-7 ☎(011)894-1251	帯広	帯広市西19条南1丁目7-11 ☎(0155)33-8477	函館	函館市西桔梗589番地241（函館流通卸センター内） ☎(0138)48-6631
旭川	旭川市2条通21丁目左1号 ☎(0166)31-6151				

東北地区

青森	青森市大字八ッ役字矢作1-37 ☎(017)739-9712	岩手	盛岡市羽場13地割30-3 ☎(019)639-5120	山形	山形市流通センター3丁目12-2 ☎(023)641-8100
秋田	秋田市御所野湯本2丁目1-2 ☎(018)826-1600	宮城	仙台市宮城野区扇町7-4-18 ☎(022)387-1117	福島	福島県安達郡本宮町字南ノ内65 ☎(0243)34-1301

首都圏地区

栃木	宇都宮市御幸町194-20 ☎(028)689-2555	埼玉	桶川市赤堀2丁目4-2 ☎(048)728-8960	山梨	甲府市下飯田2丁目1-27 ☎(055)222-5171
群馬	高崎市大沢町229-1 ☎(027)352-1109	千葉	千葉市中央区星久喜町172 ☎(043)208-6034	神奈川	横浜市港南区日野5丁目3-16 ☎(045)847-9720
水戸	水戸市柳河町309-2 ☎(029)225-0249	東京	東京都世田谷区宮坂2丁目26-17 ☎(03)5477-9780	新潟	新潟市東明1丁目8-14 ☎(025)286-7725
つくば	つくば市花畑2丁目8-1 ☎(0298)64-8756				

中部地区

石川	石川県石川郡野々市町稲荷3丁目80 ☎(076)294-2683	長野	松本市大字笹賀7600-7 ☎(0263)58-0073	岡崎	岡崎市岡町南久保28 ☎(0564)55-5719
富山	富山市寺島1298 ☎(076)432-8705	静岡	静岡市西島765 ☎(054)287-9000	岐阜	岐阜県本巣郡北方町高屋太子2丁目30 ☎(058)323-6010
福井	福井市開発4丁目112 ☎(0776)54-5606	名古屋	名古屋市瑞穂区塩入町8-10 ☎(052)819-0225	高山	高山市花岡町3丁目82 ☎(0577)33-0613
				三重	久居市森町字北谷1920-3 ☎(059)255-1380

近畿地区

滋賀	守山市勝部6丁目2-1 ☎(077)582-5021	大阪	大阪市北区本庄西1丁目1-7 ☎(06)6359-6225	和歌山	和歌山市中島499-1 ☎(073)475-2984
京都	京都市南区上鳥羽石橋町20-1 ☎(075)672-9636	奈良	大和郡山市椎木町404-2 ☎(0743)59-2770	兵庫	神戸市中央区琴ノ緒町3丁目2-6 ☎(078)272-6645

中国地区

鳥取	鳥取市安長295-1 ☎(0857)26-9695	出雲	出雲市渡橋町416 ☎(0853)21-3133	広島	広島市西区南観音8丁目13-20 ☎(082)295-5011
米子	米子市米原4丁目2-33 ☎(0859)34-2129	浜田	浜田市下府町327-93 ☎(0855)22-6629	山口	山口市鋳銭司字鋳銭司団地北447-23 ☎(083)986-4050
松江	松江市西津田2丁目10-19 ☎(0852)23-1128	岡山	岡山県都窪郡早島町矢尾807 ☎(086)292-1162		

四国地区

香川	高松市勅使町152-2 ☎(087)868-9477	高知	南国市岡豊町中島331-1 ☎(088)866-3142	愛媛	松山市土居田町750-2 ☎(089)971-2144
徳島	徳島県板野郡北島町鯛浜字かや108 ☎(088)698-1125				

九州地区

福岡	春日市春日公園3丁目48 ☎(092)593-9036	大分	大分市萩原4丁目8-35 ☎(097)556-3815	天草	本渡市港町18-11 ☎(0969)22-3125
佐賀	佐賀市本庄町大字本庄896-2 ☎(0952)26-9151	宮崎	宮崎県宮崎郡清武町下加納366-2 ☎(0985)85-6530	鹿児島	鹿児島市与次郎1丁目5-33 ☎(099)250-5657
長崎	長崎市東町1949-1 ☎(095)830-1658	熊本	熊本市健軍本町12-3 ☎(096)367-6067	大島	名瀬市矢之脇町10-5 ☎(0997)53-5101

沖縄地区

沖縄	浦添市城間4丁目23-11	☎(098)877-1207	

所在地、電話番号が変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。

0501

安全上のご注意

必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

⚠ 警告	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
⚠ 注意	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。（下記は、絵表示の一例です。）

⃠	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
❗	この絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

本体について

⚠ 警告

分解・改造しない
- ●機器が故障したり、金属物が入ると、やけどや火災の原因になります。
- ●点検や修理は、販売店へご依頼ください。

分解禁止

自動車やバイク、自転車などの運転中は、イヤホンで使用しない
- ●周囲の音が聞こえにくく、交通事故の原因になります。
- ●歩行中（特に、踏切や横断歩道）でも周囲の交通に十分注意してください。

⚠ 注意

異常に温度が高くなるところに置かない

- ●機器表面や部品が劣化するほか、火災の原因になることがあります。
- ●夏の閉め切った自動車内や直射日光の当たるところ、ストーブの近くでは特にご注意ください。

磁気の影響を受けやすいものを近づけない

- ●スピーカーの磁気の影響で、キャッシュカードや定期券、時計などが正しく働かなくなることがあります。

イヤホン使用時は、音量を上げすぎない
- ●耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

イヤホンなど肌に直接触れる部分に異常を感じたら使用を中止する
- ●そのまま使用すると炎症やかぶれなどの原因になることがあります。

電池について

⚠ 注意

電池は正しく取り扱う
- ●⊕と⊖は正しく入れる
- ●長期間使用しないときは、取り出しておく

電池は誤った使い方をしない
- ●新・旧電池や違う種類の電池をいっしょに使用しない
- ●乾電池は充電しない
- ●加熱、分解したり、水、火の中へ入れたりしない
- ●ネックレスなどの金属物と一緒にしない
- ●被覆のはがれた電池は使わない

- ●取り扱いを誤ると、電池の液もれにより、火災や周囲汚損の原因になることがあります。
- ●万一液もれが起こったら、販売店にご相談ください。
- ●液が身体についたときは、水でよく洗い流してください。

＜無料修理規定＞

1．取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理をさせていただきます。
（イ）無料修理をご依頼になる場合には、商品に取扱説明書から切り離した本書を添えていただきお買い上げの販売店にお申しつけください。
（ロ）お買い上げの販売店に無料修理をご依頼にならない場合には、お近くのご相談窓口にご連絡ください。
2．ご転居の場合の修理ご依頼先等は、お買い上げの販売店またはお近くのご相談窓口にご相談ください。
3．ご贈答品等で本保証書に記入の販売店で無料修理をお受けになれない場合には、お近くのご相談窓口へご連絡ください。
4．保証期間内でも次の場合には原則として有料にさせていただきます。
（イ）使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷
（ロ）お買い上げ後の取付場所の移設、輸送、落下などによる故障及び損傷
（ハ）火災、地震、水害、落雷、その他天災地変及び公害、塩害、ガス害（硫化ガスなど）、異常電圧、指定外の使用電源（電圧、周波数）などによる故障及び損傷
（ニ）車両、船舶等に搭載された場合に生ずる故障及び損傷
（ホ）一般家庭用以外（例えば業務用など）に使用された場合の故障及び損傷
（ヘ）本書のご添付がない場合
（ト）本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合
（チ）持込修理の対象商品を直接修理窓口へ送付した場合の送料等はお客様の負担となります。また、出張修理等を行った場合には、出張料はお客様の負担となります。
5．本書は日本国内においてのみ有効です。
6．本書は再発行いたしませんので大切に保管してください。
7．お近くのご相談窓口は取扱説明書の保証とアフターサービス欄をご参照ください。

修理メモ

※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店またはお近くのご相談窓口にお問い合わせください。
※保証期間経過後の修理や補修用性能部品の保有期間については取扱説明書の「保証とアフターサービス」をご覧ください。
※This warranty is valid only in Japan.

RQT6327